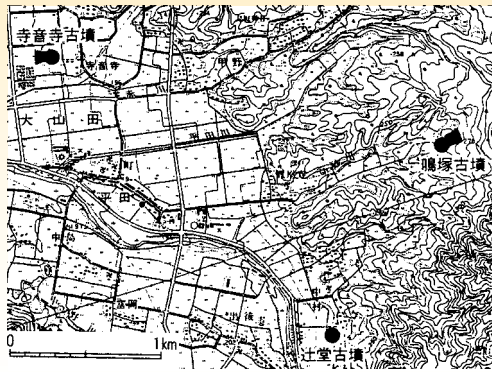


# 伊賀市の文化財 18

## 市指定史跡辻堂古墳（中村）

山田盆地の服部川右岸には、寺音寺古墳、鳴塚古墳の前方後円墳や群集墳など、古墳が多く存在しています。



▲古墳位置図

辻堂古墳は、中村地区の丘陵裾部に位置する古墳で、昭和47年に発掘調査が行われました。

6世紀中ごろに造られた直径約20mの円墳と考えられていますが、前方後円墳の可能性も残されています。

両袖式の横穴式石室で、玄室は長さ5m、幅1.9m、羨道の長さは4.5mです。石室には全面に石が敷かれており、中央に排水溝が造られています。玄室内には中央奥よりと西側袖に二つの組み合わせ式石棺が据えられています。



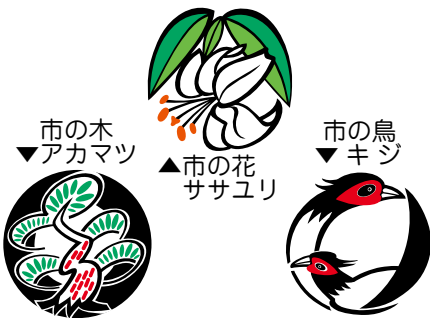
▶現地で保存されている玄室

した。中央の石棺が石室構築時に造られたもので、袖の石棺は追葬時の遺骨整理用のものと考えられています。副葬品には須恵器、土師器、鉄製品、金環、ガラス製小玉などがあり、特に当初の埋葬時に多くの土器が副葬されました。

伊賀国4郡には、玄室が5m級の横穴式石室を持つ古墳が各郡に1〜2基確認されており、この古墳の被葬者は山田郡内の有力者であったと考えられます。そして、この古墳の築造を契機に、背後の丘陵に古墳群が形成されていったと考えられています。

出土した遺物の一部を大山田郷土資料館（富永 新大仏寺前）に展示しています。

生涯学習課文化財室  
☎22・9681



発行日 平成18年5月1日  
発行 伊賀市  
〒518-8501  
三重県伊賀市上野丸之内116番地  
編集 企画振興部広聴広報課  
☎0595-22-9636  
伊賀市ホームページ：  
<http://www.city.iga.lg.jp/>

## ひとが輝く 地域が輝く ～住み良さが実感できる自立と共生のまち～ 伊賀市 IGA CITY



伊賀市では、昨年10月に決定しました伊賀市の花・木・鳥を市のシンボルとして市民の皆さんに親しんでもらえるよう、平成17年11月1日から30日までの期間、デザイン画を全国に公募しました。

その結果、市内の小学生の作品26点を含む87点の応募があり、「伊賀市の花・木・鳥選定委員会」での選定結果をもとに、応募作品の中から採用作品および優秀作品を次のとおり決定しました。

**採用作品（1点）**  
埼玉県川越市 青柳謹一さん

**選定理由**

- ① 円形に統一され意匠性も高い
- ② 柔軟な発想力がうかがわれる
- ③ いきいきと未来に向かって伸びゆく姿が強調されている
- ④ 構成がよく、ユニークで効果的である

**優秀作品（3点）**  
埼玉県所沢市 安達光幸さん  
大分県大分市 天野智雄さん  
三重県伊賀市 曾我康弘さん

採用作品については、市の花・木・鳥のデザインとして、今後市が発行する各種印刷物を中心に有効に活用していく予定であり、市のシンボルとして市民の皆さんにも広く活用していただきたいと思えます。

（今月の表紙）



この広報紙は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。